

# 令和5年度障害者差別解消法啓発事業 講演会「差別のない社会を目指して」 アンケート集計結果

開催日時 令和5年11月19日（日） 14時00分～16時00分

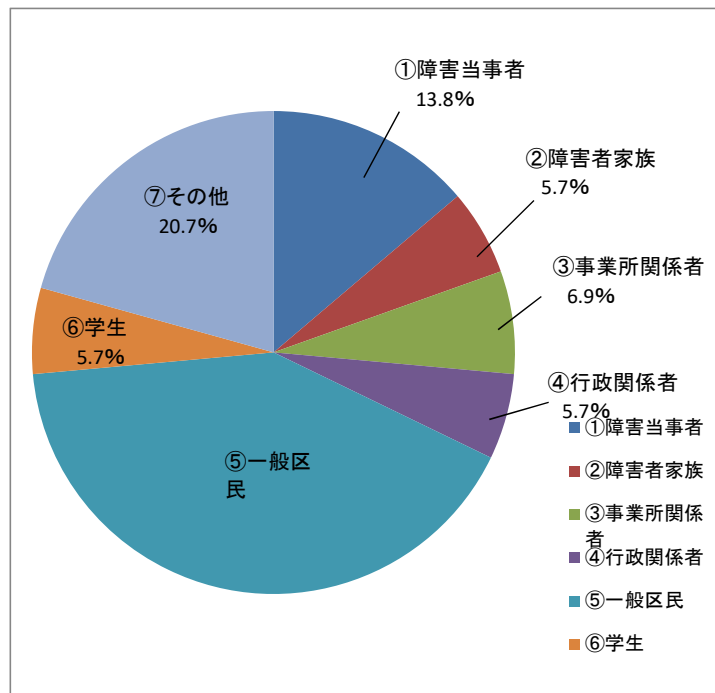
会場 赤羽会館 講堂

参加人数	96
回答人数	87
回答率	90.6%

## 1. アンケート記入者について

回答	人数	割合
①障害当事者	12	13.8%
②障害者家族	5	5.7%
③事業所関係者	6	6.9%
④行政関係者	5	5.7%
⑤一般区民	36	41.4%
⑥学生	5	5.7%
⑦その他	18	20.7%

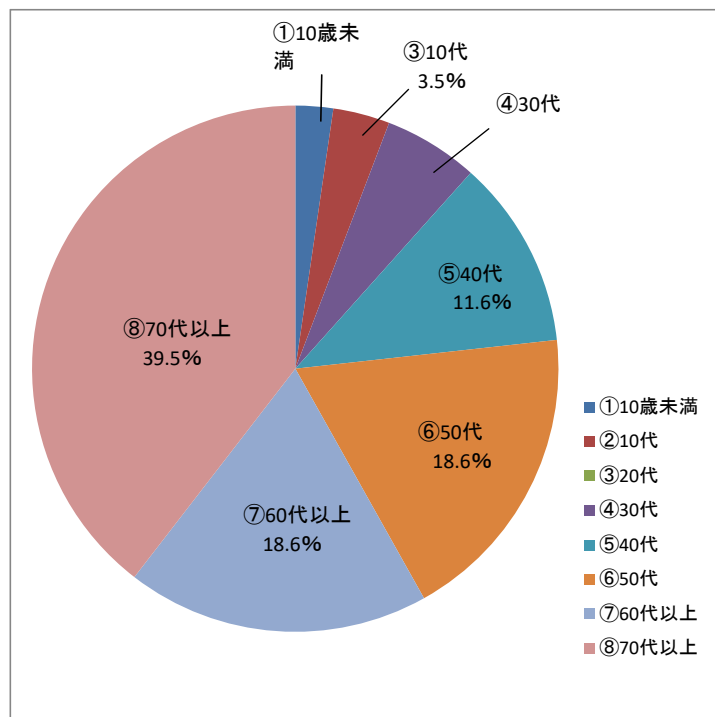
※無回答を除く



## 2. 年齢について

回答	人数	割合
①10歳未満	2	2.3%
②10代	3	3.5%
③20代	0	0.0%
④30代	5	5.8%
⑤40代	10	11.6%
⑥50代	16	18.6%
⑦60代以上	16	18.6%
⑧70代以上	34	39.5%

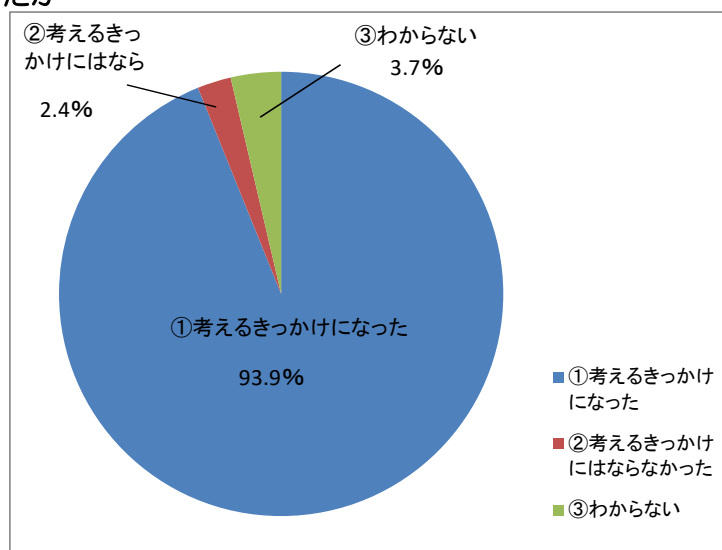
※無回答を除く



### 3. 障害について考えるきっかけになったか

回答	人数	割合
①考えるきっかけになった	77	93.9%
②考えるきっかけにはならなかった	2	2.4%
③わからない	3	3.7%

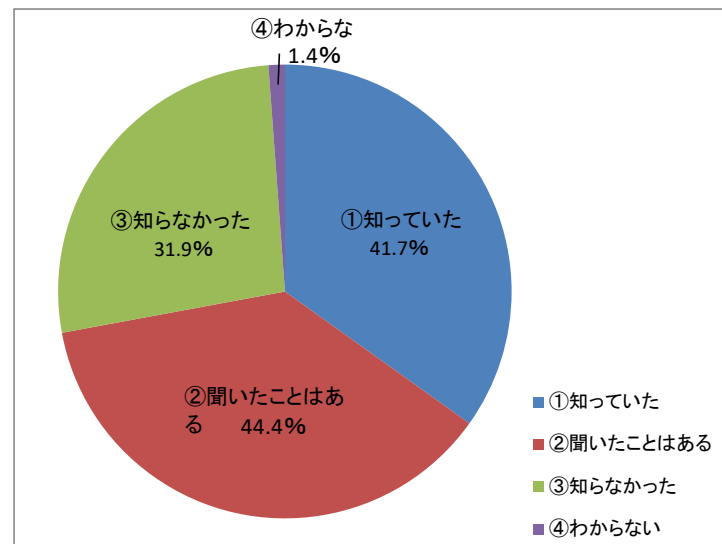
※無回答を除く



### 4. 障害者差別解消法を知っていたか

回答	人数	割合
①知っていた	30	41.7%
②聞いたことはある	32	44.4%
③知らなかった	23	31.9%
④わからない	1	1.4%

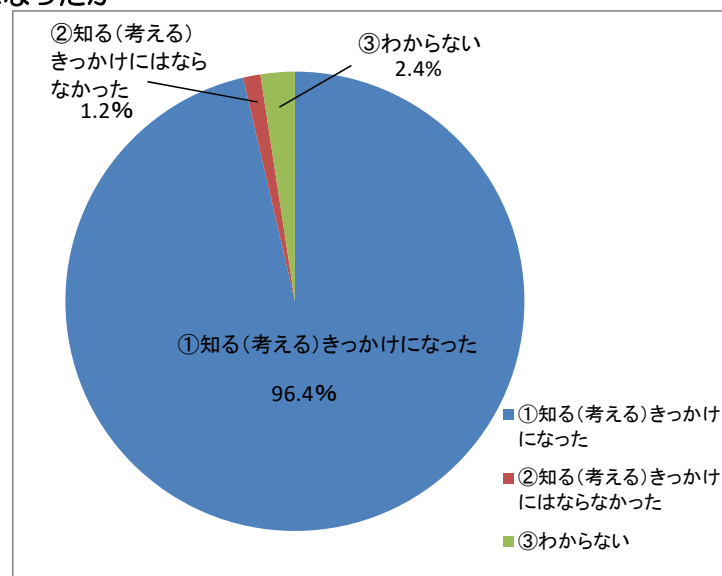
※無回答を除く



### 5. 障害者差別解消法を知るきっかけになったか

回答	人数	割合
①知る(考える)きっかけになった	80	96.4%
②知る(考える)きっかけにはならなかった	1	1.2%
③わからない	2	2.4%

※無回答を除く



## 感想（一部抜粋）

- 勇市さんの人生経験を知れて、勇気をもらえました。
- 障害者は一生懸命に生活している。しかし自分の努力にも限界があり、どうにもならない部分がある。その助けが欲しい。
- 受け入れる側の知識が必要である。
- 法律が制定されても、世間広く知れ渡るには時間がかかると思います。私たちの意識改革も必要ですが、今後もこのような機会がたくさん必要だと感じました。
- 聴覚障害者の方のお話を伺ったことがありますが、視覚に障害がある方のお話は初めてでした。視覚の障害に対するバリアフリーはどうしたらいいか、考えていきたいと思いました。
- 障害に負けず、頑張っている姿がすばらしいです。
- 色々とご苦労がおありになるのではないかと思います。みんなが暮らしやすい社会になるように何かできれば協力したいと思います。
- 当事者に自分を重ねることはできないが、想像することはできる。生活するだけでも不便が多いのに、前向きな方が多く頭が下がります。
- 障害者の身になって考える必要がある。
- 知らずに行っている行動が、障害のある方には差別につながることに気がつきました。
- より積極的な配慮が必要だと感じた。
- 障害のある方と接するとき、まだどうしても身構えてしまう自分がいますが、自然に接することができればいいと思います。
- アスリートの方も差別に苦しんだ過去があり、苦労されていることを知りました。差別のない世の中を作っていきたいです。
- 講演で、冷たい水が出たことやさんまの骨を取ったものを出された話があった。良かれと思う行為が差別になっていることを知った。まず、本人にどう対応するか確認が必要だと思った。
- 娘が知的障害者施設で働いているので、大変さがわかる気がします。
- 息子にも発達障害があり、障害について意識することが多くなりました。色々な障害をかかえている人が生きやすい社会がより進んでいけば嬉しいですし、私も出来る限りのことをしていきたいと改めて思いました。
- あらゆるところに差別があり、自分も差別を受けたことがあるので、他人事ではなかったです。
- 常日頃、思っていることですが障害者と健常者を何かにつけてわけているようで、障害者がとてもかわいそうに思います。差別はなくしてほしいです。
- 今は手話を習っており、障害について深く考える機会がある。差別のない社会。バリアフリーの社会になるよう協力できたらよい。
- 誰もが平等に暮らし、差異の心をなくす社会作りが大切。高橋さんの種々の改革に感動しました。